

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
1	カラー 4		ベゴニア・センパフローレンス {57ページ表1 春まき一年草} ベゴ ニア・センパフローレンス {65ページ2行} ベゴニア・センパフ ローレンス	表記が不統一である。	3-(4)				
2	カラー 5		セージ 'トリカラー', バジル 'ダ ーク・オパール', フレンチラベンダ ー 'アボンビュー' {97ページ表9} バジル 'ダーク・オ パール'	生徒にとって理解し難い表現である。 (' ' の意味が理解し難い。)	3-(3)				
			{100ページ22~23行} 園芸品種 'ダ ーク・オパール' {111ページ表13} セージ 'トリコロ ル', バジル 'パープルオパール'						
3	4	14	60歳以上の高齢者が総人口の30%をこ えました。	不正確である。 (高齢者の年齢と比率)	3-(1)				
4	8	11 - 15	「よりよく」と考え行動する源が、「 創造性」である。人間の行動は、物や 情報を手に入れるだけでなく、手に入 れたものに手を加えて目的にかなうも のをうみ出す行動がともなう。たとえ	生徒にとって理解し難い表現である。 (これにあてはまるが何を指示しているかが理解し 難い。)	3-(3)				
			ば、農作物の収穫、魚釣り、読書、芸 術品や植物の鑑(観)賞などは、これ にあてはまる。						
5	9	9 - 11	発掘調査から、うまれたときから障が いのある人が、40年間生きることがで きたということもあきらかになった。	不正確である。 (発掘調査から、うまれたときから障がいのある人 が、40年間生きることができたということもあきら かになった。)	3-(1)				
6	9	側注1	約20年前	誤りである。 (20年前)	3-(1)				
7	10	10 - 11	他者とあいさつから会話が始まり、	生徒にとって理解し難い表現である。 (他者とあいさつが理解し難い。)	3-(3)				
8	11	4	これ加え	脱字である。	3-(2)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
9	14	表1	ホトケノザ (タビラコ)	不正確である。 (タビラコ)	3-(1)				
10	16	8	(→p. 13図1菊花展など)	誤記である。	3-(2)				
11	18	表4	教育施設 保育所	生徒が誤解するおそれのある表である。 (保育所が教育施設と誤解する。)	3-(3)				
12	19	図13	グルグマンシア	誤記である。	3-(2)				
13	20	側注3	テルペンは、炭素5個のイソプレンと いう化合物を構造単位としてできる天然有機化合物の総称である。 {15ページ20行} フィトンチッド {15ページ側注1} 植物の精油 (揮発	生徒にとって理解し難い表現である。 (テルペンとフィトンチッドの違いが理解し難い。)	3-(3)				
			性のある植物成分) に含まれる炭素5 個のイソプレンという化合物を構造単 位としてできる天然有機化合物の総称 。						
14	20	表5	ヨウシュタマゴボウ	誤記である。	3-(2)				
15	20	表6	一次刺激性物質 サボテン科植物：茎 節に密に生える芒刺 (とげ)	生徒にとって理解し難い表現である。 (サボテン科植物が一次刺激性物質で皮膚炎をおこ すことが理解し難い。)	3-(3)				
16	21	13 - 15	動物の家畜化とは、動物のもつ性質の うち、人間にとって有益な部分を残し て、管理を強化していくことである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (管理を強化していくことが理解し難い。)	3-(3)				
17	21	15 - 16	動物を人間の存在にならず単純な過程 である調教	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (調教の意味を誤解する。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
18	22	1 - 3	数万年前、人々は明確な目的をもってオオカミを飼いならし始め、ついにはイヌをつくり出した。	生徒にとって理解し難い表現である。 (114ページ10～15行「人と暮らし始めたのは1万年以上前のこと……イヌ化が行われたと考えられている。」に照らして理解し難い。)	3-(3)				
19	22	12	ペットして	誤記である。	3-(2)				
20	22	25 - 26	「人の健康のために働く」の乗馬	誤記である。	3-(2)				
21	23	14 - 15	採卵鶏170万羽	誤りである。 (170万)	3-(1)				
22	27	話題	{動物介在介入とは 左8行} 医行為 {左10行} 医療行為 {右1～2行} 医行為	生徒にとって理解し難い表現である。 (医行為と医療行為の違いが理解し難い。)	3-(3)				
23	28	5 - 7	おもな感染源は、イヌ、ネコ、ウサギ、モルモット、ハムスター、鳥類、カメ、ウシ、ブタ、ニワトリなど、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ニワトリが鳥類でないと誤解する。)	3-(3)				
24	29	13	しかし、免疫がこれが過剰に働き、	生徒にとって理解し難い表現である。 (免疫がこれが過剰に働きが理解し難い。)	3-(3)				
25	33	20	植物を「育てる」ことを重要とする療法	生徒にとって理解し難い表現である。 (植物を「育てる」ことを重要とする療法が理解し難い。)	3-(3)				
26	35	2 - 3	精神疾患、広汎性発達障害、自閉症	生徒にとって理解し難い表現である。 (精神疾患、広汎性発達障害、自閉症の関係が理解し難い。)	3-(3)				
27	36	11	精神病院 {43ページ1～2行} 精神病院 {43ページ4～5行} 精神病院	不正確である。 (精神病院)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

15 枚中 4 枚目

受理番号 27-214		学校 高等学校	教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
28	37	16 - 17	園芸療法の多様な効用である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (多様な効用が理解し難い。)	3-(3)
29	37	表1	{環境的効用} 心理的 {知的効用} 心理的 {社会的効用} 心理的 心理的効用	生徒にとって理解し難い表である。 (心理的と心理的効用の違いが理解し難い。)	3-(3)
30	41	表3	{床面} 舗装剤	誤記である。	3-(2)
31	44	表4	{社会的情報} 成育歴	生徒にとって理解し難い表現である。 (成育歴が理解し難い。)	3-(3)
32	44	表4	{日常の状態} 毎日の生活や自立度(自分でできる) 範囲	生徒にとって理解し難い表現である。 (自立度(自分でできる) 範囲が理解し難い。)	3-(3)
33	47	3 - 4	対象者のようすをすべてを書きとめておく。	生徒にとって理解し難い表現である。 (対象者のようすをすべてを書きとめておくが理解し難い。)	3-(3)
34	48	25	第一次世界対戦	誤記である。	3-(2)
35	50	9	障がい者のための馬事普及協会	誤記である。	3-(2)
36	52	話題	イヌは「座れ」などの指示に忠実に従う。この忠実性が、人のオキシトシンの分泌などを高めるとの報告もある。	生徒にとって理解し難い表現である。 (忠実性が人のオキシトシンの分泌などを高めることが理解し難い。)	3-(3)
37	54	表1	{第3期 備考} 散歩ができるように観察アドバイスをもらう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (観察アドバイスが理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
38	56	図1	フウリンソウ {57ページ3行} フウリンソウ {57ページ表1 二年草} フウリンソウ {186ページ} カンパニュラ・メディ	表記が不統一である。	3-(4)	
			ウム			
39	60	5 - 7	植物はフラボノイド、カロテノイド、クロロフィルなどさまざまな色素を合成 {16~17行} アントシアニン、カルコン、カロテノイド、ベタレインなどの	生徒にとって理解し難い表現である。 (フラボノイド、カロテノイド、クロロフィルとアントシアニン、カルコン、ベタレイン、カルコン・オーロンとの関係が理解し難い。)	3-(3)	
			色素 {図7右上} カルコン・オーロン			
40	64	14 - 16	パンジー パンジーは、ヨーロッパ原産のスマレの仲間を交雑することにより、園芸品種が育種されてきた。大輪のパンジーと、小輪で花数の多いビオラの2系統があり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (パンジーにはパンジーとビオラがあると誤解する。)	3-(3)	
41	64	側注	{パンジー 学名} Viola wittrockiana	不正確である。 (Viola wittrockiana)	3-(1)	
42	64	側注	{パンジー 原産地} ヨーロッパ {186ページ草花 パンジー 原産地} ヨーロッパ	不正確である。 (ヨーロッパ)	3-(1)	
43	65	側注	{ペチュニア学名} Petunia {186ページ ペチュニア学名} Petunia spp.	表記が不統一である。	3-(4)	
44	67	7 - 8	自己有効感	不正確である。 (自己有効感)	3-(1)	
45	68	6 - 7	生け花は、…室町時代以降、流派ごとにさまざまな形式が発展した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生け花の流派が室町時代に誕生したと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
46	71	図21	図全体	作業の安全について適切な配慮がされていない。 (ナイフが作業者自身の方向へ進行することが危険)	固有 1-(2)				
47	73	側注1	面取りするよい。	誤記である。	3-(2)				
48	73	側注2	深くさすと安定するが、ほかの茎と干渉してしまうため注意する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (ほかの茎と干渉してしまうが理解し難い。)	3-(3)				
49	78	側注1	おもに葉を觀賞する植物のうち、とくに熱帯・亜熱帯原産のもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (熱帯・亜熱帯原産のものだけと誤解する。)	3-(3)				
50	82	2 - 4	地域の特性を生かしつつ、良好な景観を保全・創出していくために、植物による緑化を地域緑化とよぶ。	生徒にとって理解し難い表現である。 (地域の特性を生かしつつ、良好な景観を保全・創出していくために、植物による緑化を地域緑化とよぶが理解し難い。)	3-(3)				
51	82	8	景観形成の向上のために、	生徒にとって理解し難い表現である。 (景観形成の向上が理解し難い。)	3-(3)				
52	82	14	一つとである。	誤記である。	3-(2)				
53	82	表7	{教育型} 教育・児童・青少年・学校教育	生徒にとって理解し難い表現である。 (教育と学校教育の違いが理解し難い。)	3-(3)				
54	83	9 - 13	壁面緑化(図47)という。用いる植物や植栽方法により、①つる植物を用いて下方から上方に登らせるタイプ、②茎が下垂する植物を用いて上方から下方に下垂させるタイプ、③プランター	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (壁面緑化①②では植栽基盤を用いないと誤解する。)	3-(3)				
			などに植栽した植栽基盤を用いるタイプがある。						

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
55	84	14 - 15	都市農園の一部を活用して、都市住民の希望者に区画を貸し出す農園を市民農園（図49）といい、 〔図49〕屋上緑化による市民農園	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （市民農園について誤解する。）	3-(3)	
56	87	図1	{上, 左から1番目の囲み} イチゴ {上, 左から3番目の囲み} カブ ニンニク {下, 左から2番目の囲み} モロヘイヤ	不正確である。 （原産地）	3-(1)	
57	88	話題	スイカやイチゴのように草本性植物になる果実は、野菜に分類されている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （草本性植物になる果実が全て野菜に分類されると誤解する。）	3-(3)	
58	91	13	葉菜類 {88ページ3行} 茎葉菜類 {107ページ13~14行} 葉菜類	表記が不統一である。	3-(4)	
59	91	図4	{平うね2条 上} 15cmの指示線の指示位置	生徒にとって理解し難い図である。 （15cmの指示線の指示位置が理解し難い。）	3-(3)	
60	91	脚注	{ホウレンソウ 学名} Spinacia oleracea	不正確である。 （Spinacia oleracea）	3-(1)	
61	91	表5	テントウムシ	不正確である。 （テントウムシ）	3-(1)	
62	91	話題	Integrated pest Management, IPM	誤記である。 （pest）	3-(2)	
63	92	8	誘因ひも	誤記である。	3-(2)	
64	92	8 - 9	あまり段数を必要としない	生徒にとって理解し難い表現である。 （段数が理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

15 枚中 8 枚目

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
65	92	図6	{④} 受粉するハチ	誤記である。 (受粉)	3-(2)				
66	92	図6	⑤摘葉 着果節より下の葉はとり除く。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (着果後、直ちに全ての着果節より下の葉はとり除くと誤解する。)	3-(3)				
67	92	図7	{②} つるを移させて	生徒にとって理解し難い表現である。 (つるを移させてが理解し難い。)	3-(3)				
68	92	図7	{②の図の右側} 葉と不定根の図	生徒にとって理解し難い図である。 (葉と不定根の位置が理解し難い。)	3-(3)				
69	92	側注	{トマト 学名} Solanum lycopersicum	不正確である。 (Solanum lycopersicum)	3-(1)				
70	92	脚注	{サツマイモ 学名} Ipomoea batatas	不正確である。 (Ipomoea batatas)	3-(1)				
71	93	図8	味噌の生産物である「たまり」	生徒にとって理解し難い表現である。 (味噌の生産物であるたまりが理解し難い。)	3-(3)				
72	93	表6	表全体	生徒にとって理解し難い表である。 (漬け物の漬け方と種類が混在して理解し難い。)	3-(3)				
73	93	表6	{たまり漬け} 本来は塩抜きをし、たまりに漬けたもの。	生徒にとって理解し難い表現である。 (なぜ塩抜きが必要なのかが理解し難い。)	3-(3)				
74	97	表8	殺線虫機能 寄生虫の駆虫薬	生徒にとって理解し難い表現である。 (殺線虫機能と寄生虫の駆虫薬の関係が理解し難い。)	3-(3)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
75	98	側注3	微生物の働きで分解されたもの。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (腐植について誤解する。)	3-(3)				
76	99	3	明発芽(好光性)種子では覆土は行わない。 {57ページ6行} 明発芽(好光性)種子のため、覆土は最小限とする。	相互に矛盾している。	3-(1)				
77	100	側注	{ジャーマンカモミール 学名} <i>Matricaria chamomilla</i>	不正確である。 (<i>Matricaria chamomilla</i>)	3-(1)				
78	100	側注	{バジル 学名} <i>Ocimum basilicum</i>	不正確である。 (<i>Ocimum basilicum</i>)	3-(1)				
79	101	側注	{レモンバーム 学名} <i>Melissa officinalis</i>	不正確である。 (<i>Melissa officinalis</i>)	3-(1)				
80	102	24 - 25	山盛り3程度	脱字である。	3-(2)				
81	103	5	サシュ	誤記である。	3-(2)				
82	108	側注	{ジャガイモ 学名} <i>Solanum tuberosum</i>	不正確である。 (<i>Solanum Tuberosum</i>)	3-(1)				
83	110	表12	{生育促進} ルッコラ {97ページ表9 料理} ロケット {98ページ31行} ロケット {188ページ} ロケット	表記が不統一である。	3-(4)				
84	110	表12	生育促進 ピーマン, ラディッシュ バジル	不正確である。 (出典と異なる。)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
85	111	表13	{野菜} アカザ科 スイスチャード	不正確である。 (アカザ科)	3-(1)				
86	111	表13	{ハーブ} ナスタチューム {98ページ31行} ナスタチウム	表記が不統一である。	3-(4)				
87	112	6	アルカリ性土壌を好むものが多い	不正確である。 (アルカリ性土壌を好むものが多い)	3-(1)				
88	114	16	オオカミから進化したイヌ	誤りである。 (進化)	3-(1)				
89	116	16 - 20	オオカミは哺乳類ではめずらしい一夫一妻制で、その子どもは成熟しても家族群に残ることもあるという。このような特性は、イヌになってからも人と上手にコミュニケーションをとり、人間社会に溶け込んで暮らす「人間の最良の友」となった理由と考えられている。	生徒にとって理解し難い表現である。 (このような特性が何をさしているのかが理解し難い。)	3-(3)				
90	116	表1	{バーニーズマウンテンドッグ 原産地} イギリス	誤りである。 (イギリス)	3-(1)				
91	118	側注2	最小限におさえることより	誤記である。	3-(2)				
92	121	側注2	1回の発情期間は個体差があるが、一般的に2~3週間である。	不正確である。 (一般的に2~3週間である。)	3-(1)				
93	122	図12	{図のタイトル} 狂犬病注射済 {図12内} 狂犬病予防注射済	表記が不統一である。	3-(4)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
94	122	脚注4	「動物の愛護および管理に関する法律」 {側注5} 「動物の愛護および管理に関する法律」	不正確である。 (および)	3-(1)	
95	124	5 - 6	少しでも異常を発見した場合には、すぐに獣医師の診察を受けるようになる。	誤記である。	3-(2)	
96	128	表4	追跡追及活動	不正確である。 (追跡追及活動)	3-(1)	
97	131	1 - 3	人の狩猟によって絶滅させられたウマは、人の家畜となってユーラシア大陸各地で生き延びた。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウマの絶滅や生き延び方について誤解する。)	3-(3)	
98	132	1	17世紀末	誤りである。 (17世紀末)	3-(1)	
99	132	23	優雅なトロットが特徴的で	生徒にとって理解し難い表現である。 (トロットが理解し難い。)	3-(3)	
100	133	14	体高約140～155cm	不正確である。 (体高約140～155cm)	3-(1)	
101	134	9 - 11	ウマは、ウシとは異なり、セルロースのかたい部分を好んで食べてきた。そのため、食べたものの約70%しか消化吸収することができない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウマやウシの消化率について誤解する。)	3-(3)	
102	137	25	ウマが食べる食物には、塩(塩化ナトリウム)が含まれていない	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (塩が全く含まれていないと誤解する。)	3-(3)	
103	140	2	人が動物とのかかわり方には、	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

15 枚中 12 枚目

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
104	141	3 - 4	側対歩からより早く走ることができる斜対歩	誤記である。 (早く)	3-(2)				
105	141	4 - 6	現在、側対歩を示すウマは、北海道和種や木曾馬など日本在来馬の一部と、アルゼンチンに生息するクリオーージュ種など、わずかである。側対歩は自然の歩様であるため、調教が必要な場合	生徒にとって理解し難い表現である。 (側対歩は自然の歩様であるのに調教が必要ということが理解し難い。)	3-(3)				
			が多い。						
106	146	6 - 8	紀元前300～500年頃にはローマ人とともにイギリスに上陸した。	不正確である。 (紀元前300～500年頃にはローマ人とともにイギリスに上陸した。)	3-(1)				
107	147	表1	{ラグドール 体型} セミフォーリン	誤りである。 (セミフォーリン)	3-(1)				
108	147	表1	{ロシアンブルー 原産国} イギリス	誤りである。 (イギリス)	3-(1)				
109	151	2 - 3	タンパク質はイヌの約2倍、人の約5倍を必要とする。	不正確である。 (タンパク質の比較基準が不明)	3-(1)				
110	151	図9	図全体	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)				
111	153	17 - 19	猫免疫不全ウイルス (FIV)や猫伝染性腹膜炎 (FIP)など	生徒にとって理解し難い表現である。 (ウイルス名と病名が混在し理解し難い。)	3-(3)				
112	153	表3	猫ウイルス鼻気管炎	不正確である。 (猫ウイルス鼻気管炎)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

15 枚中 13 枚目

受理番号 27-214		学校 高等学校	教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
113	156	5 - 6	ヨーロッパアナウサギを祖先とする、ウサギ目ウサギ科アナウサギ属である	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ウサギは全てアナウサギ属と誤解する。)	3-(3)
114	156	9 - 14	品種…ミニウサギ	不正確である。 (品種 ミニウサギ)	3-(1)
115	156	22	給与は運動量の増える夕方を多めに、	生徒にとって理解し難い表現である。 (給与が理解し難い。)	3-(3)
116	159	5	気嚢で呼吸をする	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (鳥類の呼吸について誤解する。)	3-(3)
117	159	17 - 18	オウム目のなかで大型のものをオウム、小型のものをインコ類という。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (オウムとインコの見分け方を誤解する。)	3-(3)
118	159	28 - 30	ブンチョウ(文鳥)、ジュウシマツ(十姉妹)、カナリアなどである。ジュウシマツは鳴禽類ともいわれて	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ブンチョウ(文鳥)、カナリアは鳴禽類といわないと誤解する。)	3-(3)
119	159	側注3	さえずりをする鳥類の総称。スズメ亜目の仲間。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (鳴禽類とスズメ亜目の関係について誤解する。)	3-(3)
120	160	2 - 3	背中側の甲羅(背甲)は、背骨と脊椎が連結した骨でできている。	不正確である。 (背中側の甲羅(背甲)は背骨と脊椎が連結した骨でできている)	3-(1)
121	160	12	クサガメ 日本在来種。	不正確である。 (日本在来種)	3-(1)
122	160	14	水かきがない。	誤りである。 (水かきがない)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業	種目 生物活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
123	165	24 - 26	幼児から高齢者までのさまざまな対象者と活動することを考えて、車いすへの対応やトイレの配慮、バリアフリーに対応 {62ページ11行~14行} バリアフリー	生徒にとって理解し難い表現である。 (バリアフリーの意味が異なり理解し難い。)	3-(3)	
			は障がいをもつ人の生活における障壁をとり除くという考え方である。			
124	166	18 - 23	交流活動に参加する対象者のニーズには、①病気や障害、体力の衰えなどのため、みずから園芸活動や動物にふれ合えない人が植物や動物とかかわることによる効果を求める場合、②自然や	相互の関連が適切でない。 (文章と図の関連が理解し難い。)	2-(11)	
			人々との交流活動によって生活の質を向上したい場合、③植物の栽培や加工、動物とのふれあいを学習したい場合、などがある(図2)。 {167ページ} 図2			
125	168	27 - 28	身長は出生児の約1.5倍、体重は出生時の約3倍	生徒にとって理解し難い表現である。 (身長と体重で基準が異なり理解し難い。)	3-(3)	
126	169	7 - 15	成人(生涯学習)の理解 これまでのように、先生や親の指導に従って学ぶ教育ではなく、……みずからを高めることである。	生徒にとって理解し難い表現である。 (成人(生涯学習)について理解し難い。)	3-(3)	
127	176	13	目的に対して反省し、評価を行う。	生徒にとって理解し難い表現である。 (目的に対して反省し、評価を行うが理解し難い。)	3-(3)	
128	180	2	C高校 {7~8行} C高等学校	表記が不統一である。	3-(4)	
129	186		{アリッサム 学名} Alyssum montanum	不正確である。 (montanum)	3-(1)	
130	186		{グラジオラス 学名} Gladiolus grandiflorus	不正確である。 (grandiflorus)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

15 枚中 15 枚目

受理番号 27-214		学校 高等学校		教科 農業		種目 生物活用		学年	
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準				
	ページ	行							
131	186		{イチゴ 原産地} 西ヨーロッパ	不正確である。 (西ヨーロッパ)	3-(1)				
132	186		{カボチャ 原産地} 南米 (アンデス) {87ページ図1 右上} カボチャ	相互に矛盾している。	3-(1)				
133	187		{ディル 科名} シソ科	誤りである。 (シソ科)	3-(1)				

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。